

### 1. システム機能の改修に向けた課題一覧

機能	荷主(含：物流子会社)の声	物流事業者の声	来年度検討の方向性 例
物流情報一覧	<p>①物流情報一覧を「日付順」でソート表示する。 &lt; C社&gt;</p> <p>②物流情報検索結果の見せ方を変更する。 (貨物・車両・鉄道・船舶の情報を一挙に全て表示しない。) &lt;複数社&gt;</p>	<p>①物流情報検索結果の見せ方を変更する。 (貨物・車両・鉄道・船舶の情報を一挙に全て表示しない。) &lt;複数社様&gt;</p> <p>②閲覧済みの物流情報には、開封済み表示を付ける。 &lt; a社&gt;</p>	<p>■より利便性の高いマッチングシステムの構築を繋がる『15項目の改修要望』を頂いた。改修効果を勘案のうえ対応する必要がある。</p> <p>【27年度 改修の考え方】 (第2回検討会) 改修要望項目を、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期待効果</li> <li>・本業務の目的達成を踏まえた重要度</li> <li>・改修要望の多さ</li> </ul> <p>で属性を整理し、改修重要度を評価。</p>
物流情報登録 物流情報検索	<p>③情報項目の追加 ・「荷姿」を追加する。 &lt; C社、D社&gt;</p> <p>・積降地や発着地を都道府県レベルだけでなく、地方レベル(関東地方や四国地方など)の情報項目を追加する。 &lt; L社&gt;</p> <p>・「汚れの種類(油など)」や、「危険物(薬品など)」を追加する。 &lt; R社&gt;</p> <p>・定期運行(期間運行)かスポット運行かの分類項目を追加し、運行日単位で物流情報の登録・検索ができるようにする。 &lt; C社&gt;</p>	<p>③情報項目の追加 ・車立てなのか積み合わせなのかの分類項目を追加する。 &lt; h社&gt;</p>	
物流情報検索	<p>④システム画面上に日本地図を表示し、地図上でクリック選択した場所を積降地または発着地とする物流情報を、分かりやすく描画表示する。 &lt; E社&gt;</p>		
物流情報一覧 簡易掲示板		<p>④情報登録日時を表示する。 &lt; h社&gt;</p>	
簡易掲示板		<p>⑤自由入力が空白の場合は、表示しない。 &lt; h社&gt;</p> <p>⑥閲覧済みの掲示板情報には、開封済み表示を付ける。 &lt; a社&gt;</p>	
自拠点エリア内の 貨物情報一覧	<p>⑤1ユーザーにつき1所属物流拠点だけでなく、複数の物流拠点を登録できるようにする。 (複数エリアの貨物情報を表示する。) &lt; J社&gt;</p>		
CO2排出量試算	<p>⑥インターネット環境に依存せずに試算できるようにする。 &lt; C社&gt;</p>	<p>⑦インターネット環境に依存せずに試算できるようにする。 &lt; s社&gt;</p>	
物流情報の閲覧 履歴(新機能)	<p>⑦ユーザーに登録した物流情報の閲覧件数を表示する。 &lt; R社&gt;</p>	<p>⑧ユーザーに物流情報の閲覧履歴(誰が、いつ、どの物流情報を閲覧したか)を表示する。 &lt; h社&gt;</p>	

## ① マッチング方式

マッチング方式	荷主(含：物流子会社)の声	物流事業者の声	来年度検討方向性 例
掲示板方式	①具体的な検討は個別に顔を突き合わせて話し合う必要がある。十分な情報でなくても糸口をつかみ、まず話し合いができるかどうか判断したい。 < S社 >	①具体的な検討は個別に顔を突き合わせて話し合う必要がある。十分な情報でなくても糸口をつかみ、まず話し合いができるかどうか判断したい。 < 複数社様 >  ②シンプルな仕組みの方が普及する。 < s社 >	<p>■ 26/27年度試行では掲示板方式が最も要望が高かった。</p> <p>しかし、今後、共配実績を積み重ねていく中で、最適なマッチング方式の検討を深耕していく必要がある。</p>
運営スタッフ方式	①掲示板方式だけではニュアンスがお互い伝えづらく、マッチング成立につながりにくい。 < R社、T社 >	①元請がいてケアが必要（仲介ではなく）。 < f社 >	
自動マッチング方式	①情報登録・情報検索の負荷を軽減可能。< 複数社様 >  ②運営スタッフ方式は運営スタッフの力量に左右されやすい。 < A社 >	①参加事業者、情報量が多くなった場合、検索条件を何回も変えながら検索することになり、負担に感じることが想定される。 < j社 >	
その他の方式	①『掲示板方式』と『運営スタッフ方式』が融合したシステムが望ましい。『自動マッチング方式』の場合、マッチングの後に条件が合わない等の問題が発生する恐れがある。 < C社 >	①ニーズは多岐に亘るため、自由な文章で内容を掲載するのは良い。それに対応できる企業に手を挙げてもらうやり方も良いのではないかと < f社 >	

## ② システム利活用促進のためのインセンティブ

インセンティブ	荷主(含：物流子会社)の声	物流事業者の声	来年度検討方向性 例
インセンティブに疑問	①共配を実施できる『仲間』ができ、備車力が増えいく事こそが褒美である。 < C社 >  ②コストメリットがあるからマッチングをするのであって、インセンティブは特に必要ない。 < A社 >  ③システム利用が目的化するのには違和感があり。 < T社 >	①そもそもインセンティブの必要性には疑問がある。 < f社 >  ②インセンティブの検討は時期尚早。 < h社 >  ③単に評価をして賞金を渡すだけでモチベーションはあがらない。企業間が交流できる『場』を作る方が、モチベーションは大きくあがる。 < p社 >	<p>■ インセンティブの必要性を再度検討する必要がある。</p> <p>また表彰制度や補助金の要望も高いが、定性的・定量的な評価基準について十分な検討が必要である。 ※インセンティブの動機付け対象は26年度事業で整理済み</p>
補助金制度がよい	④CO2削減による補助金制度。 < B社 > ⑤活用による減税や補償金の交付など。 < D社 > ⑥マッチング成立案件毎に補助金交付。 < H社 >  ⑦補助金が欲しいのは、初期投資費用。 ※パレットサイズの変更/伝票統一/カゴ車導入等ここを補助してくれれば、システムの活用は促進される。 < S社 > ⑧コストが合わない場合の補填 < L社 >	④法人に掛かる税金のある程度長期間の減税又は免税制度。 < w社 >	
表彰制度がよい	⑨表彰制度はあった方がよい。特に国から表彰は効果的(名誉になる)。表彰企業は多少多目でも良いと思う。 < E社 >  ⑩表彰はとても良い。ある案件で大臣表彰を受賞したが、受賞する前と後では、全く社内での扱いが異なる。結果、色々な工場から話を聞きたいという依頼が殺到。共配が加速した。 < S社 > ⑨事例や効果の紹介。< G社 >	⑤企業紹介の場として既に良いと感じるが、利用度による表彰などあれば更に良い。 < g社 > ⑥一定期間の取組結果で表彰される制度。 < a社 > ⑦マッチング件数やCO2削減量などで表彰。 < p社 > ⑧成功事例紹介として、発表会(表彰付き)などで、成功事例を参考に活用へ向ける。 < k社 >	

## ③ その他

項目	内容	来年度検討方向性 例
マッチングプロセスのアイデア等	①ニーズは多岐に亘る。自由な文章でニーズを掲載し、それに対応できる企業に手を挙げてもらうやり方はどうか？ < f社 >  ②物流情報の閲覧履歴を参照できれば、閲覧してくれた企業に対してアクションが取れる。結果、マッチングが活性化する可能性がある。 < h社 >	